

介助を必要とする子どもがいる 世帯の父親の健康状態

Bibha Dhungel

国立成育医療研究センター・政策科学研究部

論文情報 : Dhungel, B., Tsuguhiko, K., Ochi, M., Gilmour, S., Kachi, Y., & Takehara, K. (2021). Association of child's disability status with father's health outcomes in Japan. *SSM - population health*, 16, 100951. <https://doi.org/10.1016/j.ssmph.2021.100951>

Research Question

介助を必要とする子どもがいる世帯における父親の健康状態を明らかにする

• データ：
国民生活基礎調査（2016）

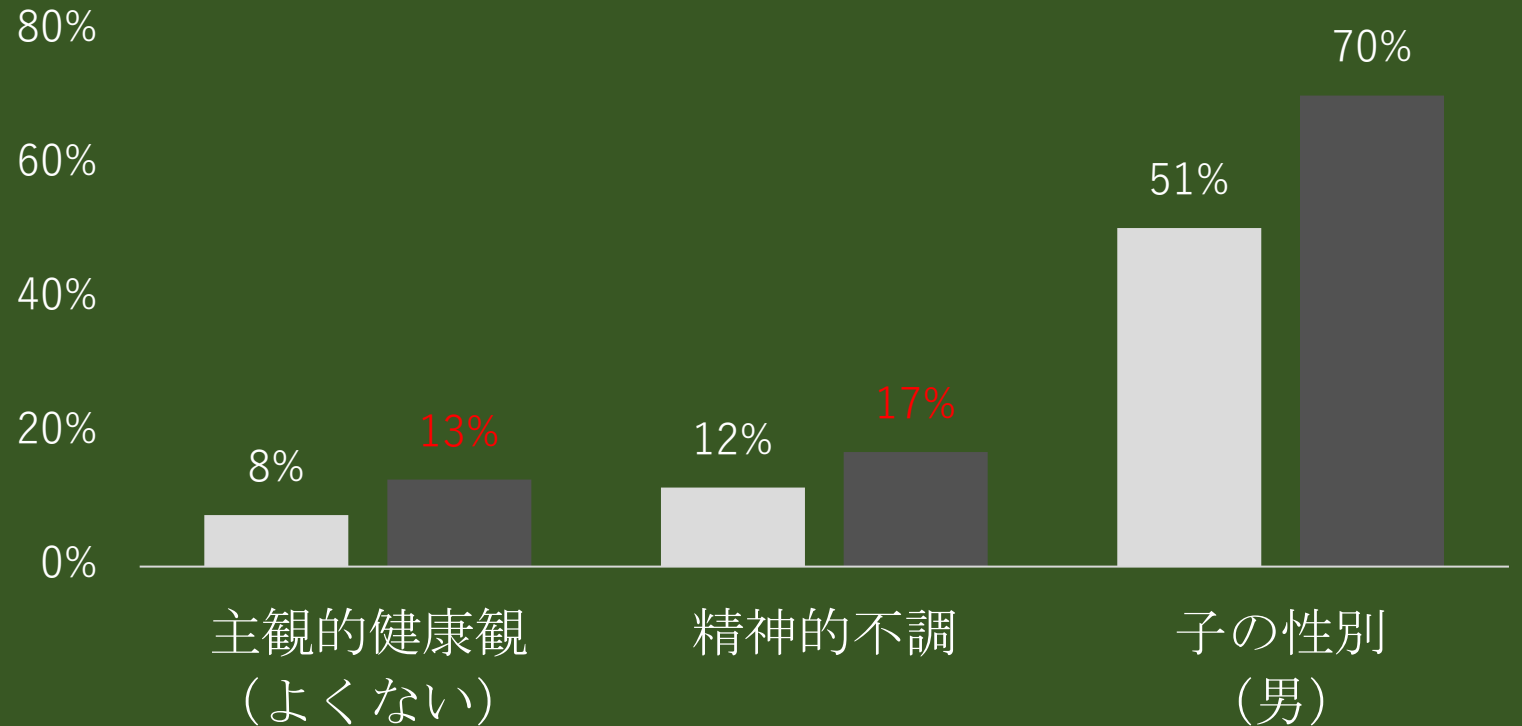
世帯票・健康票

• 分析対象者：父親
438（介助が必要な子どもがいる世帯）
27682（いない世帯）

• 要因：
介助の必要の有無
（介助が必要が3ヶ月以上）

• アウトカム：
精神的不調（K6尺度 ≥ 9 点）
主観的健康観

• 結果：



- 精神的不調および主観的健康観が良好でない割合は、介助を3ヶ月以上必要としている子どもがいる世帯の父親で高かった。
- 介助が必要な子どもがいる世帯の父親への支援の必要性が示唆された。

自己紹介

連絡先

ご質問等ある方は、

下記のメールアドレスまでお問い合わせください。

fmc@ncchd.go.jp